



農業委員会
だより

1

Volume.

令和6年度



農
業
鑑
賞

たがやす

TAGAYAS



わたしの農園
たのんだばい



オイに
まかせんね!



西彼町小迎で活躍する若手農家、田川侑輝さん。佐世保に住んでいましたが、幼い頃から毎週のように西海市のおじいちゃんおばあちゃんの家に泊まりに来ていました。田舎と自然が大好きで、畑仕事や石垣の上での昼寝が日常でした。



田川 侑輝

そんな侑輝さん、今では西海市の農業を引っ張る存在に！小迎地区の豊かな土壌と潮風の環境を活かし、ミカンを約2畝栽培中。農業のあり方を根幹から変えようと新しいことにどんどん挑戦しています。「やるなら今しかない！」と意気込む彼は、若い世代を巻き込むために「農業はカッコいいんだ、稼げるんだ」と見せていきたいと語ります。高級車に乗って子供達に魅力アピールするのも彼の夢の一つ（笑）

侑輝さんの目標は10畝の農地を管理すること。でも、おばあちゃんとは意見が対立しがち。「そんなに急に手広くしなくても」と不安を抱くおばあちゃんに対し、おじいちゃんは「若い世代の考え方は違うのが当たり前。侑輝がやりたいならやれば」と応援しています。実はおじいちゃんも若い頃、周りがやっていないことに挑戦してきたそうです。侑輝さん、おじいちゃん似？

温暖化の影響でミカンの栽培が難しくなってきた今、「未来を見据えた農業を」と新しい作物レモン栽培にも挑戦中。「さいかいレモン」が有名になる日も近いかも…。「リスクを取らなければリターンもない。現状維持は衰退の始まり」と語る彼の姿勢は、まさに未来志向。

昨年の雹被害の際も、傷ついたミカンをグリーンセンターに安価で出したところ大人気に！その結果、田川家のみかんの味を知った人たちが、リピーターとして新鮮で良質なみかんを買ってくれるようになりました。まさにピンチをチャンスに変えた瞬間です。

祖父の勝郎さんにこそっと「お孫さんカッコいいですね！」と伝えると、はにかむ勝郎さんの目には、孫への深い愛情と信頼が溢れていました。

長年培ってきた勝郎さんの知識と技術、侑輝さんという若い世代の農業への挑戦が融合し、地域に新たな風を吹き込んでいます。

侑輝さんの農業ライフ、これからも目が離せません！西海市の未来を担う彼の挑戦に、皆さんもぜひ注目してください。

研修旅行

農業委員 視察研修 in 大分・佐賀

農業委員・農地利用最適化推進委員・事務局で大分・佐賀方面へ視察研修に行きました。委員改選後ということで、新委員さんを迎え普段なかなか話す機会もない他地域の委員との交流を深め、今後の活動に向けた新たな連携のきっかけとなりました！



大分県・宇佐市に学ぶ 地域計画



1日目は宇佐市で地域計画の研修を行いました。宇佐市は西海市同様、農業者の高齢化や、後継者不足などの問題を抱えています。しかし土地の形状や作物別に計画策定の優先順位をつけることで、農業者の方たちが自発的に協議し集積を行っているそうです。地域資源を活用した持続可能な農業の実現方法について深く理解することができました。

若手就農者の育成と、最新技術に触れる

2日目は佐賀県に移動し、JAさがが運営しているトレーニングファームの施設見学を行いました。若手農業者の育成を目的とし、最新の農業技術や経営ノウハウを学ぶことができる場です。見学を通じて、実際の農業現場での実践的なトレーニングの重要性を再認識しました。最新の農業機械や技術を実際に見て触れることができ、同じ農業者でもある委員さんたちは大いに刺激を受けました。



新農業委員の前田さんは「今回の研修を通じて少しずつですが農業委員としての仕事が増えてきたように感じます。西海市の農業を支えるため、他の委員さんや事務局、地域の皆さんと協力して一つ一つ解決できるよう頑張りたいと思います。」と意気込みを見せてくれました。



農地の貸し借りは

農地中間管理事業（農地バンク）

を活用しましょう

◆農地中間管理事業（農地バンク）とは

長崎県農業振興公社が、農地を貸したい人（出し手）から農地を借り受け、農地を借りたい人（借り手）に貸し付ける事業です。

西海市においては西海市農業振興公社が受付や相談などを行っています。

賃料の有無にかかわらず契約を行うことができますので、まずは西海市農業振興公社へご相談を。



お問合せ 一般財団法人 西海市農業振興公社
西海市大瀬戸町多良内郷2170番地 TEL: 0959-22-1311

西海市 農業未来設計図

西海市では、令和7年3月を目標に地域計画の完成を目指しています。

旧小学校区12地区すべてで第1回の協議が終了し、次のステップに進む準備が整いました！第1回の協議では、各地区で地域の現状や課題を共有し、どのような方向性で進めていくかを話し合いました。地域農家の皆さんが積極的に参加し、自分たちの意見を出し合う姿が印象的でした。地域計画は、地域の未来を描くための大切な地図のようなものです。西海市の農業をよりよくするためこれからも皆様のご協力をお願いいたします！



西海市の
農地を守る!

農地パトロール!

勤

西海市の農地は約6万筆! 7月~9月記録的猛暑の中、49名の委員さんが一筆一筆の状況を見回り、農地の現在の状態を調査しました! 8月某日、雪浦地区パトロールの1日へ密着!

農地パトロールを行うことで

- ① 地域の農地利用の確認
- ② 遊休農地の把握と発生予防・解消
- ③ 違反転用発生防止・早期発見…

…につながります!

農業委員に就任して初の農地パトロールを終えた安藤委員に、感想を聞いてみました!



西海市に移住して早1年が経ちました。この地で生まれ育った方々にとっては当たり前の風景も、県外から来た私には非日常の光景として映ります。しかし、農業を取り巻く環境には課題が山積しています。農地パトロールを実施する中で、耕作放棄地や後継者不足といった問題が浮き彫りになりました。特に、今回の農パトで出会ったビワ農家さんとの会話からも、その深刻さが伝わってきました。

しかし、私が担当する雪浦には地域おこしの風土が色濃く、新規就農を目指す若者発掘など地域の方々と一緒に考えていきたいと思います。



農地を実際に見て状況を判断! タブレットで調査結果を報告します。



地域の農業者の方からの情報もとっても重要です!



暑さで汗が止まりません! 調査お疲れさまでした!



ちびっつと アロアール



安藤 卓巳 委員

福岡県出身。退職を機に奥さんの実家がある西海市へ一人で移住?! なんと、義父さんの柿農園を引き継いで栽培されています。

農業委員に応募した理由を聞いてみると、「農業者の方とのつながりができ、自分にもプラスになるという不純な動機だった」と、ちょっと照れくさそうに話してくれました。でも、そのおかげで今では地域の農業に貢献しながら、たくさんの人と交流を深めています。

安藤委員は柿の収穫体験や自宅での体験民泊を行っていて、修学旅行生や園児たちに農業体験を提供しています。みんなでワイワイ楽しく農業を学びながら、美味しい柿を収穫する体験は、きっと忘れられない思い出になることでしょう。これからも安藤委員の活動に注目です!

今後その農地、どう利用しますか?

農地パトロール実施後

- しばらく草刈りされていない
- 現在耕作されておらず、耕作の見込みもない

などの判断をされた農地について「農地利用意向調査」を行います。(12月頃を予定)

調査対象

- 農地の所有者

確認内容

- 耕作の意思があるか
- 農地の賃借を行う意思があるか (賃借については→農地中間管理事業を参照)

地域の農業をよりよくするため、回答のご協力をお願いいたします。

貸す?

草刈り?

耕す?





将来への備えだけじゃない
農業の未来を支える

農業者年金

加入者
インタビュー
Q&A

北川 優子さん(28)

北川さんは「西海市の子供たちに学ぶ機会を作ってあげたい」と西海町で学習教室を運営されています。



加入要件

- 年間60日以上農業に従事する方
- 国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)
- 20歳以上60歳未満の方

※さらに60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

納付金額

- 月2万円から6万7千円の範囲内で千円単位で設定

※35歳未満で要件に満たす方は月1万円の納付から設定できます。

詳しくはこちら



農業者年金

検索

Q 農業もされていると同じですが、きつかけを教えてください！
A 実家が農家ということもありますが、地元の農地が荒れていくのを見るのが嫌だったからです。
Q 農業はどのくらいされていますか？
A 週5日講師をしているので、空いた時間に手伝う形で作業しています。収入源としては楽しくからやっています！
Q 農業者年金についてはどのように知りましたか？
A 農業委員の葉山さんにミカンの講習会で話しかけられたことで知りました。「農業者」としているので、本格的に農業をしている人しか入れないのかと思っていました。
Q 農業者年金への加入の決め手は何ですか？
A 個人事業主なので、ずっと厚生年金のことは気になっていました。農業者年金は税金対策にもなり、支払った分は自分に返ってくるというところに魅力を感じ加入を決めました。国の制度なので安心で心強いです。
Q 最後に、この記事を読んでいる方にメッセージをお願いします。
A きつと加入できる人はもっといるはずですよ。自分も加入できるか興味を持ってほしいと思います。ぜひ皆さんも自分に合った制度かどうか確認してみてください！

西彼と西海の協議会が合併

西海市農業者年金受給者協議会、始動！

令和6年4月から西彼と西海の農業者年金受給者協議会が合併し西海市農業者年金受給者協議会となりました。西海市内在住の農業者年金受給者の方ならどなたでも加入できます。農業者年金受給者協議会は3つの運動を柱にして活動を行っています。

- ① 農業者年金制度を守り育てる
- ② 担い手育成支援
- ③ 新しい仲間づくり

- 役員会(役員のみ)
- 総会(懇親会あり)
- 研修旅行
- 地区別研修会
- グラウンドゴルフ県大会参加
- 農業者年金の加入推進活動 など

活動
内容

一緒に農業者年金制度を支え次世代の農業者を育てるための支援を行いましょ！

愉快な仲間たちが皆さんの加入をお待ちしています。
 農業者年金受給者協議会に加入しませんか？

年会費 3,000円



研修旅行 西海町 熊本



研修旅行 西彼町 鹿児島



令和6年度 総会懇親会



令和5年度 地区別研修会



グラウンドゴルフ大会

全国農業新聞

暮らしに役立つ
農業情報が
盛りだくさん

週一購読で

月額700円

毎週金曜日発行

購読料

- 新聞本誌 700円
- 電子版 500円

お申し込みは農業委員会事務局まで



ヤミ耕作
心当たりありませんか？



- 〇約束で農地を貸し借りしている
- 〇祖父母・親の世代から手続きなしのまま貸し借りしたまま

そのまましていると、農地の相続人がわからなくなったり、耕作中の農地を返してほしいといわれることも?!。ヤミ耕作はトラブルのもと…農業委員会へ申請を！

それ、違反転用
です!

STOP



農地を農地以外の目的で使用する
場合農地法の許可が必要です。

無許可で農地転用した場合3年以下の懲役または
300万円以下の罰則が科せられます。

- 〇家を建てる
- 〇駐車場にする
- 〇資材置き場にする
- 〇工場を建てる
- 〇太陽光発電を設置するなど…



もともと転用できない農地などの場合もあるのでまずは農業委員会までお気軽にご相談ください。